

# 個人情報流出問題の 調査特別委員会設置可決

# 真相解明を

# 自浄能力が 問われます

甲良町議会12月定例会の最終日12日は放課後児童クラブの民営化をめざす条例、議員から提出された個人情報流出問題を調査検証する特別委員会設置案、町長不信任決議案など、活発な議論が交わられました。個人情報流出に関して、①ズサンな管理、②発覚後の対応・自浄能力などが問われています。

13日、甲良町政を語るつどい（同実行委員会主催）が開かれました。つどいはお互いの党派・信条を超え、今、甲良町政はどんな事態になっているか知っていたらどうして計画されたものか（つどい）の詳しい様子は別の機会に。議会最終日と「つどい」の様子をかいつまんでお知らせします。

西澤議員は、5人の議員（西川、建部、山田裕康、山田充、岡田の各氏）と連名で税務課保管の個人情報流出問題で調査・検証特別委員会設置の決議案を提出。賛成10、反対1（野瀬議員）で可決しました。

決議は次の通りです。

◆**名称** 個人情報流出問題の調査・検証特別委員会

◆**目的** 町民が町条例に基づき行った情報公開請求で開示された情報、受け取った書類の中に町民513人分の税務に関する個別番号・氏名・税目・税額・納付状況等が記載された個人情報流出したことが発覚した。過失であれ、何であれ、税務課内部の個人情報を庁舎外に流出させる事故は起こしてはならない。これは情報公開条例にも、個人情報保護法にも抵触し町民の信頼を失墜するゆゆしき事態である。

よって、町民の安全・安心を守り、信頼に足る町行政事務を再構築するため、今回の個人情報流出の事実関係およびこのような不祥事を起こした原因など真相を解明するとともに再発防止策を協議し、提言を行う。

◆特別委員会の可決を受け

☆委員長に西澤伸明議員

☆副委員長に西川誠一議員

を選任しました。

## 「町長の大切な任務は 職員の安全を守ること」

「つどい」に参加したAさんは「ぜひ町政で起きていることを知ってほしい」と次のように発言（要旨）。

甲良町政は大変異常。心の病で職員が休み、中には中途退職の方もいた。個人攻撃のような圧力を受け、それを野瀬町長が止めもしない、一緒になって理不尽な圧力を加えているという。町長で大事なことの一つは、職員が安心して働ける職場環境を作ること。不当な圧力から職員を守ること。やってはいけないことは気に入る者だけ周りにおいて、気に入らない職員は左遷すること。野瀬町長は長い幹部職員の経験があるのに分かっていない、とAさんは強く批判しました。

での開示資料に誤って混入した可能性は限りなく低い」と判断した（読売新聞の記事）とあります。山田議員への聞き取りは一切なく、報道にある顧問弁護士の判断では「私が税務課のカギ付きロッカーから盗んで、故意に混入させた、となる。あり得ない話。なのに犯人にされかねない」と怒りを込め顧問弁護士の判断に抗議しました。

## 被害議員との面談・ 電話連絡を拒否

読売新聞記事にある弁護士の見解について、野瀬町長に面談を求めたところ、面会も電話連絡も拒否すると総務課から回答してきたと発言。野瀬町長は、真相解明に背を向け、実の被害者との対話も拒否し、誠意のかけらもない、と山田議員は怒りの声をあげました。

## 山田裕康議員「輪ゴム止めの 状態で受け取り、開けたら…」

甲良町政を語るつどいでの山田裕康議員の報告は次の内容（概要）でした。

山田議員は、情報公開の開示のさい、A3用紙158枚でA4用紙85枚をつつむように輪ゴムでとめた状態で開示資料受け取り、持ち帰り開けたところ、A3用紙にはさみ込む状態で個人情報A4用紙72枚（うち49枚はヒモとじ）が混入していた、と開示資料を持参し状況を再現しました。

さらに、町は、個人情報流出の経緯は不明と報告し、11日に顧問弁護士に調査を依頼。それでも流出の経緯は不明。弁護士は「情報公開

## 甲良民報

2018年12月15日 747号【改訂版】  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士373（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

## 給与7割カット

513人の個人情報流出自体、事務管理のデータメスの証明。「流出」の経緯も調査できない野瀬町長の失態が噴出。12日、町長の管理監督責任を問い、給与7割カット条例を10対1で可決しました。